

鎌倉 パートナーズ



(鎌倉駅西口の時計台 / 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第86号 平成30年3月発行(季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No.6

こんな市民活動しています!



竹林昌代さん

NPO法人^{ゆうふう}游風 事務局長
<http://kamakurayufu.com/>

リレートークとは: 鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

～現在から未来への幸せな暮らしのために～

活動を始めたきっかけは、子育て中に「イベントで出る大量のゴミは、どうにかならないのだろうか?」と気になっていたことでした。『游風』を発足して、リユース食器の提案から始めました。リユース食器は、イベントに導入されることでゴミが大幅に減ります。

現在は、もう一つのアイテムとして木の器(和器)の利用提案もしています。和器は木を伐採した時に、建材としては使われない部分を薄くスライスして、熱を加え圧縮することで器にしています。使用後は、炭化処理して、炭の効用を活かした方法で再利用します。国土の7割が森林である日本の資源を有効活用できる和器を始めたことで、環境保全の貢献度が広がり、里山保全、炭製造などの団体と繋がりました。どちらも使い捨て食器の代わりに使うだけで、誰でも簡単に環境活動が出来ます。

鎌人いち場をはじめ、町内会の催しで和器やリユース食器が使用されゴミが大幅に減少しています。食器を替えたことをきっかけに日常生活でもゴミの減量などに関心を寄せていただければ嬉しいです。

木などの自然素材を使うことも薦めていきたいです。石油も地球の資源なので自然素材といえますが、何千万年もかけてできた資源を使い過ぎず、人間の手を使って育てていける木をうまく活用していくことが、現代だけでなく次世代の幸せな暮らしに繋がっていくのではないかと思います。

私たちの活動が幸せな環境づくりに少しでも貢献できればと思います。



(鎌人いち場で環境対策コーディネーター)

去る3月4日に市内の自治・町内会長と市民活動団体をセンターにお招きして座談会を行いました。平成28年に鎌倉市が行った自治・町内会調査の結果では役員のなり手不足や会員の高齢化が問題になっています。こうした状況の中で自治・町内会の維持・継続に必要なことや「個人情報の扱い」、「空き家問題」といった昨今のコミュニティの課題についても話し合いました。



〈座談会の出席者〉
 今泉台町内会／尾島さん コープ野村自治会／浅井さん
 七里ガ浜自治会／小松さん、中村さん、園部さん
 NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台／丸尾さん
 鎌倉市市民活動部地域のつながり推進課／久祢田さん
 鎌倉市市民活動センター／立木、中垣、西畑（司会）

活動を継続するための仕組み、多世代の参画

- 尾島さん) 世帯数が多く3地区からそれぞれ役員を選出して12名をそろえるが毎年苦勞している。5月の総会で役員任期の提案をするが、任期は2年～4年が適当だと思う。イベントをやればやるほど達成感はあるが、役員は疲れ果てる。役員は70代が中心で、若手を育てる必要性を感じている。
- 小松さん) 平成30年度で50周年を迎える。役員の任期は2期4年まで。それ以降は顧問として関わるので自動的に新しい役員経験者が増えていく仕組み。婦人部、現役を引退したシニア、現役の青年部の3部構成で力をあわせて自治会運営をしている。海に近いという環境もあってか街全体としては毎年30世帯ほど若い世帯の転入があり、公園で遊ぶ子ども達が増えているのを実感している。
- 中村さん) 婦人部は学校や子どもを通したつながりが強い。子育てが終わった60代以降が主力で80代でもお祭りやバザーなどのイベントでも活発に活動している。
- 小松さん) 中村さんは民生委員を17年務められていて地域のネットワークを持っている。
- 園部さん) 桜祭り、夏祭り、ハロウィン等毎年継続して行うイベントはそれぞれ実行委員会を作って運営をしていて、それが横のつながりの基盤となっている。また幼稚園・小学校の保護者OBとしてのつながりから自治会に関わりはじめるケースもある。みんなが住みたい街をつくる、そのために貢献をしていこうという共感が生まれる環境が大切ではないか。私も引越してくる前はマンション住まいで当番のように役員が決められていて、自発性はなかった。
- 中村さん) 若い人は、仕事の合間にメールでコミュニケーションをとるなど、時間の使い方が上手。動きが速く意思決定も会議を待たずにできるのは自治会の運営にとって非常にプラス。
- 尾島さん) 若い人は自治会に関わることで強制されたくないと思っているようだ。自主的に運営できる組織が望ましいがまだそこまでできていない。
- 小松さん) 自治会は地元のコミュニティセンター。自治会の活動は、自分たちの住みたい街をつくるのが目的で地域の社会貢献活動だと思っているが、社会貢献に対する評価はまだ低い。例えば役員任期は4年なのに5年以上活動しないと市の表彰はない、とか。

人材の確保は普段の関係作りから

- 丸尾さん) 夏祭りなどで集まった若い人を自治会活動にスカウトできるものか。その場限りにならずに引き留める秘策はないか。
- 園部さん) イベントは場を提供する自治会の人と場に参加する人がつながる機会にはなるが、イベントに出てきただけでは役員をお願いする声はかけづらい。子どもを介して親同士が仲良くなり、お酒を飲んでつきあえるようになって、やっと役員を頼める関係になる。一朝一夕ではない。
- 尾島さん) 青年部を作りたいとずっと思っている。若い人を集めた会合を行ったが3つの地区でやりたいことが違い話をまとめるのが難しかった。とりあえず輪を広げ、いろいろな意見を聞く会から始めてみたい。

個人情報の扱いについて

- 浅井さん) 築30年のマンション。管理組合は男性役員で任期2年、自治会は女性役員で任期は1年。餅つきイベント復活を条件に男性だが自治会長になった。マンションでは活動の基盤となる名簿作りそのものが難しく、集合ポストに名前を出さない方や表札を出さない方もいて顔が見えない。子ども会の対象者がどれくらいいるかも把握できていない。
- 丸尾さん) アンケートでの個人情報の収集には限界がある。手間はかかるが市役所で閲覧できる住民基本台帳で調べることができるし、コピーもとれる。
- 浅井さん) 「個人情報」という名称が妙な垣根を作り、コミュニティを壊すのかもしれない。いっそのこと「ご近所情報」にしては、という話も先日参加したセミナーで聞いた。
- 小松さん) 生命・財産を守るための情報の取得は個人情報の保護に優先するのではないか。防犯上の観点で緊急連絡先の情報は自治会として把握し、管理している。
- 尾島さん) 町内会のレベルでありあまり神経質にならないほうがよいと思う。子どもの顔写真の扱いも難しい。
- 浅井さん) コミュニティを守るという意味合いから個人情報を解釈するような、行政側からそうした方針ができればやりやすいのだが。

空き家問題への取り組み

- 丸尾さん) 毎年6月に歩いて空き家調査を行い、地図に落とし込んでいる。調査の目的は空き家の売買ではなく、利活用。元々町内会の行っていた調査だが、今はNPOが行っていて、調査の手法も公開している。空き家を使ったサロン運営や空き地の手入れ、菜園化なども行っている。
- 小松さん) 毎年ではないが空き家・空き地の調査は自治会でも行っている。使えそうな空き家を借り、自治会で管理してイベントを行う施設として使っている。普段は入場料100円の会員制サロンのような感じで活用されている。

地域を支えるNPO法人の取り組み

- 丸尾さん) タウンサポート鎌倉今泉台は、町内会活動だけでは限界のあるコミュニティの長期的な課題に取り組む仕組みやそれを支える資金調達の仕組みを考えて法人の設立に至った。町内会と連携をとりながら、空き家調査と空き家の利活用、人材バンクの運営、各種イベントの企画運営、地域包括ケアシステムの検討、リビングラボの運営等を行っている。活動の事例を公開することで鎌倉全体のまちづくりに貢献することも法人のミッション。
- 司 会) タウンサポート鎌倉今泉台は、包括的にまちづくりに関わっているが、一般の市民活動団体でもイベントのコンテンツ提供や運営協力など得意分野を活かして、部分的であっても自治・町内会活動と連携できる場所があるのでは。
- 小松さん) NPO法人の運営となると資金の調達から分配、税金の問題まで会社の経営と同じ。一方で自治会は基本的に会費のみで賄っている。寄附（お金や土地で）の申し出はあるが、管理責任は負えないので全て断っている。自治会と会計を分けてNPOを作ることは現状考えていない。
- 久祢田さん) 本日のような話題をさらに深めるために「自治・町内会課題解決のための交流会」を3月24日に鎌倉学園で実施する。コミュニティデザインの専門家も招いてワークショップを行うので、皆さんにも是非参加してもらいたい。

〈座談会を終えて〉

今回は自治・町内会の抱える課題や単に活動の継続のみならず、活性化の具体的なヒントをいただきました。これらの課題に対して市民活動がどのように関われるかをもう少し突っ込んで話し合いたかったのですが、時間がなくなり残念でした。今後も様々な機会を設け、市民活動センターとしてこの問題にコミットしていきたいと思えます。座談会にご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。



センターからのお知らせ

地下道ギャラリー展の出展者を募集しています

すでにメール等でご案内のように下記の通り地下道ギャラリー展を開催いたします。募集を間もなく締め切りますので出展をご希望の団体はお早めにセンターまでお知らせください。日頃の皆さまの活動の様子をパネルや写真、作品等で紹介するチャンスです。

開催期間：4月10日(火)～16日(月)

会場：JR鎌倉駅 地下道ギャラリー

募集団体：10団体

「ゆうメール」の料金が変わります

郵便料金の値上げに伴い、センター鎌倉でご利用いただいている「ゆうメール」の料金を5月1日より下記のように改定いたします。通常の郵便料金の半額以下で信書以外の郵便物を送れる大変お得なサービスです。是非ご利用ください。

	現行	改定後
定型 50gまで	70円→	90円
定型外 500gまで	80円→	100円

NPOセンター鎌倉の印刷機が新しくなりました

センター鎌倉の印刷機「オルフィス」が新しくなりました。従来の機械より印刷スピードが倍速くなり、カラー印刷もきれいに仕上がります。各種の印刷機能も充実していますのでスタッフにお気軽にご相談ください。

研修講座アンケートのお礼

12月に実施した研修講座に関するアンケートにご回答いただきありがとうございます。アンケートでは「低額の受講料で実務の習得を目的とした講座」、「団体のマネジメントに関する講座」に対する要望が多くありました。皆さまのご意見を参考に今後の研修講座を企画して参りたいと思います。

市民活動団体のための講座がおこなわれました

■マネジメント講座 「市民活動経理のキホン」
1月20日(土) センター鎌倉 参加15名

経理や税務処理、マイナンバー制度の基本的な知識を勉強しました。講習内容に即したテキストを配布して講座で得られた知識を日常業務でもすぐに使えるようにしました。税理士による専門相談も好評でした。

■広報講座 「広報・チラシの作り方」
2月24日(土) センター大船 参加24名

講師の坂田さんの経験談や具体的な事例に基づくチラシ制作のプロセスがわかりやすく、質問が続出、対象を絞ったコミュニケーション方法やすぐに使えるテクニック満載の講座でした。

団体情報の確認をおこないます【予告】

次号のパートナーズ発送時に記入用紙を同封しますので、団体情報の更新をよろしくお願いいたします。あわせて皆さまの団体の年間の活動報告もご記入いただきたいと思いますのでご準備をお願いします。

新規登録団体の紹介（平成30年3月8日現在）

★**易经を学び広める会**：勉強会や講演会を通して易经の原点を学び、現代への活用について考えます。

★**鎌倉養護学校PTA**：養護肢体不自由児と知的障害児が在籍する養護学校のPTAです。児童・生徒の自立と社会参加を目指し、地域と交流し、障害への理解、周知をめざして活動しています。

★**大町三丁目自治会**：大町三丁目の地域活動の向上に向けて活動の活性化を図るとともに、防災意識の向上に努めています。

★**鎌倉山町内会**：住民が安全で快適な暮らしができるように活動をしています。集会所は幅広く利用されています。地域外方のご利用もできます。

編集後記：淡いピンクの桜が街を彩り、心地よい風を感じる季節になりました。今年はNPOセンター設立20周年を迎え「和をつなぐ 輪をひろげる」をコンセプトに様々な記念プロジェクトが始動しています。登録団体同士が連携することで、新しい風が起るかもしれません。皆さまの活動の様子を生き生きとお伝えして「和をつなぐ」お役に立てる紙面づくりを心掛けてまいります。30年度もよろしくお祈りします。(敦)

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

平成30年2月28日現在

利用登録団体数：354団体

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。